

～アニメ業界からの贈り物・環境マガジン「アニッコ Vol.6」発行～ 天才バカボン

バカボンのパパたちが下落合や中井の自然やエコな取組みを紹介します。
3月25日（木）から西武線各駅のほか TAF2010※1でも配布いたします！

一般社団法人日本動画協会
西武鉄道株式会社

地球環境や子どもたちの安全のために何かできることはないかと考え
アニメーション制作会社が力を合わせてできる一歩として制作しています。

一般社団法人日本動画協会（事務局：東京都千代田区、理事長：布川郁司）と西武鉄道株式会社（本社：埼玉県所沢市、社長：後藤高志）は、アニメを通じた社会貢献活動の一環として、日本動画協会会員社（西武線沿線にある会社に限定）のアニメキャラクターを使用した、子ども向けの環境マガジン、アニメのふるさと環境マガジン「アニッコ（Anime&Eco）Vol.6」を3月25日（木）に発行いたします。

これは、日本国内において最も多くアニメ制作会社が集積する西武線沿線の自治体等の環境対策などへの取り組みを日本動画協会が取材し、子どもたちに大人気のアニメキャラクター（※毎号キャラクターは異なります）が地球環境の大切さを考え、活躍する内容の冊子を制作、無償配布することにより、沿線の子どもの環境に対する意識をわかりやすく啓発していくものです。

今回は、「天才バカボン」のバカボンのパパたちが、都心近くに残された豊かな緑や湧水、そして野鳥やホテルが住む街を散策しながら、さまざまな自然やエコへの取り組みなどを伝えます。西武線各駅や自治体施設のほか、TAF2010（東京国際アニメフェア2010）でも無料配布します。

日本動画協会と西武鉄道が主催している「アニメのふるさとプロジェクト」は、「アニッコ」の配布などを通し、沿線地域と子どもたちを始めとしたみなさまに、笑顔が届けられるよう、地域資源を活かした魅力あるまちづくりに協力してまいります。（詳細は別紙のとおりです。）



アニッコ（Anime&Eco）Vol.6 表紙



アニッコ（Anime&Eco）Vol.6 の内容の一部

©フジオプロ・ぴえろ

別紙

「環境マガジン」制作概要

1. タイトル : 「アニッコ (Anime&Eco) Vol. 6」
2. 発行日 : 2010年3月25日 (木)
西武鉄道全駅および TAF2010・沿線自治体施設等でも無償配布。
TAF2010 (東京国際アニメフェア 2010) 会場では 3月 28 日まで配布。
なお、会場内では過去に発行したアニッコ Vol.2~5 も同時配布します。
3. 制作内容 : サイズ/B5 12ページ
・制作部数 50, 000冊
・使用するアニメキャラクターは日本動画協会会員社 (西武沿線にある会社に限定) の物を使用し、その会員社が立地する場所 (市区町村) を取材対象地域とし、環境に対する取り組みをアニメキャラクターの特性 (素材) を活かしながら地域の子どもたちが「環境問題」に興味を持ってもらえるような冊子を制作。
○使用キャラクター: 「天才バカボン (フジオプロ・ぴえろ)」
○取材地域: 東京都新宿区 (下落合駅・中井駅周辺)
4. 制作・問い合わせ : 日本動画協会 (企画、取材、編集、原稿制作、著作権処理なども行う)
5. 配布先 : 西武鉄道各駅、沿線自治体施設や沿線教育関連施設など
6. 主催 : アニメのふるさとプロジェクト (日本動画協会・西武鉄道)
7. 協力 : 中野区・(株)フジオ・プロダクション・(株)ぴえろ
8. 特別協力 : チャレンジ25キャンペーン (環境省)

<天才バカボン>

漫画家赤塚不二夫によって描かれた「天才バカボン」は、過去4度にわたってアニメ化された、赤塚作品の最高峰ともいえるべき作品です。超個性的なキャラクターたちが、本音と本音をぶつけ合い、ギャグの渦を巻き起こします。

登場人物は「コニヤニヤチワ、ワシがバカボンのパパなのだ!」と、誰に言うともなく大声を出すこの作品の主人公のパパ。道端からは「お出かけですか、レレレのレー」と声をかけるレレレのおじさん。交番の前では、拳銃を乱射し始める目玉つながりのお巡りさんをはじめ、多くのキャラクターが作品を盛り上げていきます。



©フジオプロ・ぴえろ

<ご参考>

「一般社団法人日本動画協会」

我が国のアニメーション製作業界の意志を統合し、関連する諸企業・団体との連携を保ち、アニメーション産業全体の持続的発展を目指している団体です。同協会は、アニメーション業界のマーケット情報の収集と発信、各種付加価値の創造、著作権保護の研究と実践、人材の育成、さらに諸団体との協力・調整やアニメに係わる様々な協同研究などに取り組んでいます。また、我が国のアニメーション文化を海外に紹介するなど、国際交流の実績も重ねております。

※「アニメの活用による社会貢献活動」について(2007年10月4日付ニュースリリースより)

1. 合意日 2007年10月3日 (水)
2. 提携 有限責任中間法人日本動画協会※・西武鉄道株式会社
※2007年10月当時。現在は一般社団法人日本動画協会
3. 活動実績
 - ①「かんきょうキッズ・ふるさとウォーク」/2008年4月19日 (土)
人気のアニメキャラクターたちが環境への興味の入り口として参加し、地域の森や里山あるいは都心を舞台にして、子どもたちが楽しみながら地域や地球環境について理解してもらうウォーキングイベント。
 - ②「切符 de アート」・埼玉県飯能市 (鉄腕アトム): 2008年10月19日 (日)・20日 (月)
・東京都杉並区 (機動戦士ガンダム): 2009年3月13日 (金)
・埼玉県入間市 (ホッタラケの島): 2009年7月10日 (金)
「子どもたち」・「ふれあい」・「地域コミュニティー」・「環境」をテーマとして、地域の子どもたちが参加して西武鉄道で回収された使用済みの切符をつかい、人気のアニメキャラクターの壁画を作成。『リサイクル=エコ (ECO)』を体験・意識していただくことを目的として実施。
 - ③「アニッコ (Anime&Eco)」: 昨年12月に創刊された子ども向けの環境マガジン。地球環境や子どもたちの安全のために何かできることはないかと考え、アニメーションを作っている会社が力を合わせてできることとして制作。



「アニッコ (創刊号)」

発行日：2008年12月17日 (水)

作品名：ケロロ軍曹

取材地域：東京都杉並区、上井草駅・井荻駅周辺

創刊号は、ケロロ軍曹が杉並区の自然や環境活動を紹介。地球侵略を企てるケロロ軍曹が、このままでは地球が温暖化などで侵略する価値がなくなると知り、みんなと協力して地球を救おうと決心します。

©吉崎観音／角川書店・サンライズ・テレビ東京・NAS・BV



「アニッコ Vol. 2」

発行日：2009年3月20日 (金)

作品名：名探偵コナン

取材地域：東京都中野区、新井薬師前駅・沼袋駅周辺

Vol. 2は、名探偵コナンが少年探偵団の仲間と一緒に中野区での環境活動や、街中のエコを紹介。コナンと仲間達がエコについての「とても大切な言葉」を探し出してゆきます。

©青山剛昌／小学館・読売テレビ・TMS 1996



「アニッコ Vol. 3」

発行日：2009年7月4日 (土)

作品名：ねぎぼうずのあさたろう

取材地域：東京都練馬区、大泉学園駅・石神井公園駅周辺

Vol. 3は、ねぎぼうずのあさたろうの「あさたろう」「こもも」「にきち」の3人が、最近見かけなくなった「練馬大根」の行方を追って、畑や川のヒミツを解きながら自然の大切さを伝えてくれます。

©飯野和好／福音館書店・テレビ朝日・東映アニメーション



「アニッコ Vol. 4」

発行日：2009年10月17日 (土)

作品名：あたしんち

取材地域：東京都西東京市 田無駅・西武柳沢駅・東伏見駅周辺

Vol. 4は、「あたしんち」のどこにでもいるフツウの家族、タチバナ家。今日もエコという名の節約にはりきる母が東京都西東京市の自然やエコ活動を伝えます。

©ママレード／メディアファクトリー・テレビ朝日・シンエイ・ADK



「アニッコ Vol. 5」

発行日：2009年12月21日 (月)

作品名：昆虫物語みなしごハッチ

取材地域：東京都国分寺市 国分寺駅・恋ヶ窪駅周辺

Vol. 5は、「みなしごハッチ」の仲良しミツバチア兄妹のハッチとアーヤが緑地や湧水がたくさんある国分寺市の自然やさまざまなエコの取り組みなどを伝えます。

©タツノコプロ

※<TAF2010（東京国際アニメフェア 2010 開催概要）>

【期 間】 2010年3月25日（木）～28日（日）

・ビジネスデー 3月25日（木）／26日（金）

・パブリックデー 3月27日（土）／28日（日）

【時 間】 ・ビジネスデー 10:00～17:00

・パブリックデー 10:00～18:00

※パブリックデー入場は各日終了時間の30分前まで

【会 場】 東京ビッグサイト 東京国際展示場 東1・2・3ホール他

（東京都江東区有明3-21-1）

【入場料】 ・ビジネスデー 事前登録 無料（公式ガイドブック付）

未登録 1,000円（公式ガイドブック付、税込）

※事前登録は3月24日までホームページ上にて受付

※関係者およびビジネス目的の来場者のみ受付のため、18歳未満は入場禁止

・パブリックデー 当日 / 大人：1,000円 中高生：500円（税込）

前売 / 大人：800円 中高生：400円（税込）

※小学生以下、65歳以上および障害のある方と介助の方は無料

※前売券は3月26日（金）まで全国のコンビニ・各代理店にて販売

【主 催】 東京国際アニメフェア実行委員会 [委員長 石原慎太郎（東京都知事）]

【協 賛】 東京国際アニメフェア実行委員企業・団体 他

○お客さまのお問合せ先

西武鉄道お客さまセンター TEL.(04)2996-2888

営業時間：平 日 9:00～19:00 土休日 9:00～17:00

※ 音声ガイダンスのご案内により操作してください。

参考資料

<西武鉄道㈱での主な環境保全の取り組み>

○「切符 de アート」の実施

地元の小学生らと使用済み切符でアニメキャラクターのモザイク壁画をつくるイベントです。「子どもたち」、「ふれあい」「地域コミュニティ」「環境」をテーマとして、使用済み切符を利用することで『リサイクル(Eco)』を体験・意識していただくことが目的です。

○太陽光発電システム

下井草駅、東長崎駅、武蔵藤沢駅、拝島駅に太陽光発電システムを設置しています。発電した電力は駅の照明や、エスカレーター、エレベーターなどに利用されています。

○地元産木材を利用したベンチ

東飯能、横瀬、西武秩父各駅のホーム待合室に地元産木材で制作したベンチを設置しました。ご利用のお客さまに木のぬくもりを感じていただくとともに、環境への関心を高めていただくよう努めています。

○駅緑化

西武球場前駅、航空公園駅、小手指駅の一部壁面などを緑化しています。

○回生電力貯蔵装置

2007年に国内で初めて「回生電力貯蔵装置」を2ヵ所の変電所に導入しました。この装置は、回生車両がブレーキをかけた際に車両に搭載した回生ブレーキにより発電した電気エネルギーを、変電所に設置した「回生電力貯蔵装置」に貯蔵し、電車が力行（発車・加速時）する時に貯蔵した電力を放出するものです。これにより、電力使用量を削減し、省エネルギー化を図っています。

○「秩父サイクルトレイン」の実施

都内（池袋駅）から往復の専用電車を運行し、自転車をたたまず乗車して秩父でサイクリングを楽しんでいただくイベントを2007年から実施しています。イベント参加に自動車を使わず、電車と自転車を利用することでCO2削減に貢献しています。第4回目となる今年は、11月15日（日）に開催します。

○「飯能・西武の森」

当社が埼玉県飯能市に保有する約77ha（ヘクタール）の森林を「飯能・西武の森」と名付け、地域の方々の憩いの場として、また自然体験を始めとする環境教育の場として親しまれる森を目指して保全活動に取り組むとともに、整備を進めています。なお、この事業に当たっては、埼玉県、飯能市等の支援を受けております。

○「ヤギによる草刈り」

8月から池袋線武蔵横手駅の線路脇の社用地でヤギによる草刈りを行っています。この取り組みは、これまで社員が機械を使用して行っていた除草を、ヤギが草を食べることに代えるものです。除草に機械を使わないことによるCO2の削減を目的としており、きわめて環境にやさしい取り組みとなっています。

これにより、年間約176kgのCO2が削減される試算です（当社調べ）。また、当社作業の効率化にも寄与しています。ヤギは雄の「そら」と、雌の「みどり」の2匹で、武蔵横手駅ホームや同駅停車中の車内からご覧いただけます。



<2008年10月に飯能市内で実施した「切符 de アート」>



<ベンチに地元産木材を利用した西武秩父駅待合室>



<屋根上およびベンチ部に緑化を施した小手指駅北口>



<サイクルトレイン車内の様子>



<武蔵横手駅線路脇社用地にて草を食べるヤギ>